

令和2(2020)年度学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰)について

このことについて、文部科学省から下記のとおり被表彰者(校)の決定について通知がありました。

この表彰は、学校保健及び学校安全の普及と向上に尽力し多大な成果をあげた個人、学校及び団体を文部科学大臣が表彰するものです。

なお、表彰式については、令和2年度全国学校保健・安全研究大会(11月12日(木)・富山県)の中で執り行われる予定でしたが、中止となりました。

報道発表については、文部科学省より10月13日に行われました。

記

1 上野 顕 氏(63歳) 那珂川町立小川小学校 学校医

【功績概要】

平成10年4月から現在までの22年間、那珂川町内の小学校、高等学校において学校医を歴任し、児童・生徒の健康保持増進に尽力した。また、栃木県医師会学校保健部会理事を歴任し、児童・生徒の健康教育に意欲的に取り組むなど、本県の学校保健の普及・向上に貢献した。

2 佐川 徹三 氏(67歳) 鹿沼市立西中学校 学校歯科医

【功績概要】

昭和58年4月から現在までの37年間、鹿沼市内の小中高等学校において学校歯科医を歴任し、児童・生徒の口腔に関わる疾病の予防、歯科衛生思想の普及啓発に尽力した。また、幼児や学童に対するフッ素塗布事業に尽力するなど、学校歯科保健の普及・向上に貢献した。

3 近藤 裕 氏(71歳) 栃木市立赤津小学校 学校薬剤師

【功績概要】

昭和51年4月から現在までの44年間、栃木市内の小中高等学校において学校薬剤師を歴任し、学校環境衛生検査を通して健康で安心な学習環境づくりに尽力した。また、薬に関する正しい知識や薬物の危険性などを児童・生徒が理解しやすいよう工夫しながら伝えるなど、薬物乱用防止活動に貢献した。

4 さくら市立氏家小学校

【功績概要】

「豊かな心と自ら学ぶ意欲をもつたくましい児童を育成する。」を基本目標に、各種ワークシートや振り返りチェック表等を活用した日常のきめ細やかな保健指導や児童自ら企画、運営し、楽しみながら体力向上を目指す「体力アップ広場」など、児童の心身の健康を第一に考えた活動に取り組んだ。